

本日初公開、小林ちどり先生の横顔をご紹介します



4月からあぜりあ西船橋校で茅ヶ崎C1クラスを担当させていただいております小林と申します。家族は、航空会社勤務の夫(1人)と2人の子供(どちらもすでに不良債権化)そして本人、の4人です。趣味は、陶芸・映画鑑賞・ワイン・人間観察・お昼寝、などなど。宜しくお願いいたします。

8/14(木)茅ヶ崎クラスお休み
代替日として西船校 19:30
茅ヶ崎中級クラスは
7/30(木)19:30に予定して
おります。宜しくお願い
します。

茅ヶ崎C1クラスは、単語の確認・文法事項の確認・リスニング、から構成され、基本的にはその課題に沿った学習を行うのですが、個人的には、学校教育の現場では重要視されていない事項に対する理解も深めていただきたいと考えます。言い換えるなら、英語理解の壁が何に起因するのかを授業の中で少しずつ発見していこう、例えば基礎的な語彙の定義に対する理解不足が実際のコミュニケーションの円滑さを阻む事実、を授業の中で確認していこう、という方向です。

例えば、suspectとdoubt、この2つの単語はどちらも「疑う」という日本語で処理される場合が多く、実際には反対の意味であるにもかかわらず、同義だと誤解していらっしゃる方が少なくありません。

「では〇〇さん、この両者に意味の違いはありますか？あるとすればどのように違いますか？あるいは、全く同じ意味なのでしょう吗？」「えーっ？と、ですね…うーん…suspect はちよつと疑う？で、doubt はもつとすごく疑う？」

「程度の差ですね、ではどなたかこの意見に反論、いかがですか？〇〇さん？サクッと試してみましようか？」

「は、はいっ？えーっ？えーっ？子供とか(とかって、なに？)を疑うのがdoubt！(きっぱりと)で、…大人なんか(なんか、って なに？)を疑うときにはsuspect を使う？…ん？？」

さらに大胆かつ無謀な解説も飛び出します。日本の学校英語教育の欠陥は、同時に、生徒達の自由奔放な発想を育んできたともいえる(?)のでしょうか。approve とadmit との比較検討の際などにも、個性的な定義が飛び交い、改めて日本の英語教育の功罪に思いを馳せたいです。

語学学習は「努力と忍耐」ともいわれますが、修行僧よろしくひたすら忍の学習は退屈ですよね。皆さんに「楽しさと発見！」(も ある！)とおっしゃっていただける授業を提供できるよう精進してまいりたいと思います。宜しくお願いいたします。

講師 小林ちどり

夏期お試しコースのご案内



あぜりあを知っていただく為の夏期お試しコースを実施致します。
費用はお1人様3,000円。全3回各55分の授業にご参加頂けます。
対象：英会話クラス、茅ヶ崎クラスにご興味のある外部の方
期間：2008年7/19(土)～8/1(土)
場所：佐倉校・西船橋校・津田沼校
電話：043-487-3871 047-401-5757 047-454-5574

新設『植草学園大学』

この4月より、都賀の近くにある『植草学園』に、短期大学の他に4年生の大学が新設されました。縁あって、『発達教育学部』で『初等英語教育通論』を持たせていただくことになりました。まず、最初に建物のデザインのすばらしさにびっくりし、心踊るものがありました。しかし次に、素直な学生の姿に心温まりました。この学校では、小学校教諭免許や保育士資格の他に、特別支援学校教諭の資格が取れます。やはり、都心で学生生活をエンジョイしたい層と違って、やさしい子が集まっているのだと認識し、ここでの教育が楽しみになってきました。どこでもひた向きにがんばる生徒は可愛いですね。私もがんばらなければ！

校長 勝山ひとみ

